



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 シャルレ

コード番号 9885 URL <http://www.charle.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥平 和良

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレートサービス部長 (氏名) 高田 博祐

TEL 078-792-8565

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	8,612	△3.3	267	△65.4	282	△65.1	142	△79.7
28年3月期第2四半期	8,905	4.6	773	82.2	810	71.9	699	61.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	7.43	—
28年3月期第2四半期	36.50	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
29年3月期第2四半期	24,336		20,702		85.1	1,097.93
28年3月期	24,222		21,173		87.4	1,104.79

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 20,702百万円 28年3月期 21,173百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)平成28年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 10円00銭

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,200	△3.4	600	△50.3	620	△50.8	250	△75.1	13.08

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	21,034,950 株	28年3月期	21,034,950 株
29年3月期2Q	2,178,712 株	28年3月期	1,869,514 株
29年3月期2Q	19,114,748 株	28年3月期2Q	19,165,542 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期損益計算書関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策を背景に、雇用や所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調にあるものの、中国をはじめとした新興国の景気減速や不安定な欧州情勢などから企業収益の改善にも足踏み傾向が見られるなど、先行き不透明な状況が続いております。

国内レディースインナーウェア市場におきましては、アジア圏における人件費の上昇や原材料価格の高騰など、依然として厳しい環境が続きました。

このような環境のもと、当社は「豊かさの追求」を企業理念とし、「女性を元気にする日本一のグループ」に向けて、女性たちに活躍の機会を提供し、地域を活性化することによって、豊かな社会の実現を目指してまいります。その為に、中期経営計画に基づき、「販売組織の活性化」、「ビジネスメンバーと顧客との接点強化」、「商品開発の強化」、「収益性の改善」、「新規事業の開拓・展開」に積極的に取り組んでまいります。

商品面におきましては、衣料品類では、定番商品として、前年度より本格展開した30代から40代層をターゲットにしたブランド「シャルレ セルフィア」より、主力商品である「美意識ブラジャー」に新色を追加発売し、加えてコーディネートができるショーツも新たに発売しました。しかしながら、同ブランドの販売数は概ね計画通り推移したものの発売2年目となることから、売上高は前年を大きく下回る結果となりました。数量限定商品としては、アウターブランドである「シャルレ ドレッセ」より、シーズンに合わせたカットソーやパンツ等を発売しました。また、生活支援に関連した商材として、接触冷感素材を使用した「冷感敷きパッド」や「冷感ピローパッド」、歩行理論に基づき設計された「シャルレウエルネス タウンシューズ」等の商品アイテムを増やしたことにより、衣料品類全体の売上高は前年並みの推移となりました。

化粧品類では、定番商品である高機能エイジングケアラインの「エタリテオーラマージュ」がリニューアル発売2年目となるため、見込み通り売上高は減少しました。今年3月に新スキンケアシリーズ「クリアホワイト」を発売したものの売上高は予想を下回り、化粧品類全体の売上高は前年を下回る結果となりました。

健康食品類では、一部の既存定番商品の売上高は前年を下回りましたが、3月に発売した2種類の乳酸菌を配合した加工食品「ラクティブラス」の売上高が好調に推移したことにより、前年を上回る結果となりました。なお、健康食品ブランド「n s (エヌエス)」の全商品は、2016年モンド・セレクションのダイエット・健康製品部門において、金賞及び銀賞を受賞しました。

営業施策面におきましては、5月に全代理店を対象とした「第33回シャルレ代理店セミナー」を開催し、中期の経営方針や各種施策の共有を図り、ビジネス活動の意欲喚起に繋げました。また、ビジネスメンバーの活動促進を目的とした単年度のインセンティブ施策を実施するとともに、9月よりビジネスメンバーを対象とした「チャレンジコンテスト2016(9月～11月)」を実施し、販売活動の意欲向上に繋げております。さらに、訪問販売と融合したビジネス活動を推進するために、通信販売サービスである「シャルレダイレクトサービス」の利用促進を目的とした施策やセミナー、利便性向上の活動支援、また「定期お届け便」制度の推進に取り組み、利用者数は大幅に増加しました。

これらの結果、当第2四半期累計期間における当社の売上高は、衣料品類は前年並みに推移したものの化粧品類が前年を下回ったこと等により86億12百万円(前年同四半期比3.3%減)となりました。利益面につきましては、売上高の減少に伴い在庫ロスが増加したこと及び、商品開発のための費用増加等により営業利益は2億67百万円(前年同四半期比65.4%減)、経常利益は2億82百万円(前年同四半期比65.1%減)、四半期純利益は1億42百万円(前年同四半期比79.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

総資産は、現金及び預金の増加42億11百万円、有価証券の減少44億98百万円、商品の増加3億24百万円等により、前事業年度末に比べ1億14百万円増加して243億36百万円となりました。

負債は、買掛金の増加3億67百万円、未払金の増加3億7百万円等により、前事業年度末に比べ5億85百万円増加して36億33百万円となりました。

純資産は、利益配当金4億79百万円、四半期純利益1億42百万円等により、前事業年度末に比べ4億70百万円減少し、207億2百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前事業年度末に比べ、2.3ポイント減少し85.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、127億61百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、5億18百万円の収入(前年同四半期は6億83百万円の収入)となりました。主な要因は、税引前四半期純利益3億10百万円、たな卸資産の増加3億21百万円、仕入債務の増加3億67百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、20億47百万円の収入(前年同四半期は39億82百万円の収入)となりました。主な要因は、3ヶ月を超える定期預金の減少22億円であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、6億53百万円の支出(前年同四半期は3億80百万円の支出)となりました。主な要因は、配当金の支払額4億78百万円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年10月27日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,250	13,461
売掛金	71	99
有価証券	4,498	-
商品	4,160	4,485
貯蔵品	53	50
繰延税金資産	360	272
その他	213	157
貸倒引当金	△17	△18
流動資産合計	18,591	18,507
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,209	1,203
土地	907	907
その他（純額）	279	472
有形固定資産合計	2,396	2,584
無形固定資産		
ソフトウェア	858	876
その他	17	16
無形固定資産合計	875	893
投資その他の資産		
投資有価証券	1,051	1,054
前払年金費用	728	764
繰延税金資産	166	153
その他	419	385
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	2,359	2,352
固定資産合計	5,630	5,829
資産合計	24,222	24,336

（単位：百万円）

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	811	1,179
未払金	857	1,164
未払法人税等	64	110
賞与引当金	292	233
その他	364	321
流動負債合計	2,389	3,009
固定負債		
売上割戻引当金	205	197
退職給付引当金	347	332
その他	105	94
固定負債合計	659	624
負債合計	3,048	3,633
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,600	3,600
資本剰余金	4,897	4,897
利益剰余金	13,985	13,648
自己株式	△1,295	△1,436
株主資本合計	21,188	20,710
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△14	△7
評価・換算差額等合計	△14	△7
純資産合計	21,173	20,702
負債純資産合計	24,222	24,336

（2）四半期損益計算書
（第2四半期累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）
売上高	8,905	8,612
売上原価	4,329	4,476
売上総利益	4,575	4,136
販売費及び一般管理費	3,801	3,868
営業利益	773	267
営業外収益		
受取利息	5	0
有価証券利息	8	9
受取配当金	0	-
雑収入	24	6
営業外収益合計	38	17
営業外費用		
支払利息	0	0
雑損失	0	1
営業外費用合計	1	1
経常利益	810	282
特別利益		
関係会社清算益	-	27
特別利益合計	-	27
特別損失		
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	-	0
税引前四半期純利益	810	310
法人税、住民税及び事業税	110	67
法人税等調整額	-	101
法人税等合計	110	168
四半期純利益	699	142

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	810	310
減価償却費及びその他の償却費	207	194
受取利息及び受取配当金	△14	△10
固定資産除却損	-	0
関係会社清算損益（△は益）	-	△27
売上債権の増減額（△は増加）	△2	△28
たな卸資産の増減額（△は増加）	△790	△321
前払年金費用の増減額（△は増加）	△50	△36
仕入債務の増減額（△は減少）	656	367
未払金の増減額（△は減少）	△109	103
未払消費税等の増減額（△は減少）	△106	△25
前受金の増減額（△は減少）	51	9
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△13	△15
その他	40	28
小計	678	550
利息及び配当金の受取額	14	10
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△9	△41
その他	△0	△0
営業活動によるキャッシュ・フロー	683	518
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	4,700	2,200
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	7	3
有形固定資産の取得による支出	△12	△92
無形固定資産の取得による支出	△23	△77
関係会社の整理による収入	-	82
その他	△688	△69
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,982	2,047
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△344	△478
リース債務の返済による支出	△35	△34
その他	△0	△140
財務活動によるキャッシュ・フロー	△380	△653
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	4,285	1,912
現金及び現金同等物の期首残高	4,299	10,849
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,584	12,761

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

特別利益に計上しております関係会社清算益27百万円は、当社の子会社であった香羅奈(上海)国際貿易有限公司の清算において、残余財産の処分の際に発生した清算益であります。